

Conclusion

- 肥満手術は、高度肥満患者において強化ライフスタイル介入や内服強化療法に比べて体重減少と糖尿病の改善を有意に認めた。
- 肥満手術の中でもRoux-en-Y胃バイパス術は最も効果的な処置であった。
- また肥満手術施行により、血圧・脂質に関しても改善することが示唆される。
- Roux-en-Y胃バイパス術は術後の残胃の観察が困難であり、胃癌の罹患率の高い日本では、適応を慎重に考える必要がある。
- 日本では高度肥満患者が欧米と比べて少なく、今後検討していく必要があると考えられる。